

鳥取県への学生派遣プログラム 2016

鳥取県での現地調査（9月12日～16日）

2016年度は参加学生6名（男子3名・女子3名）2グループが、鳥取県と鳥取市の全面的な協力の下、中心市街地で活動を行いました。

プログラム1日目（市長表敬訪問、町歩き）（9月12日）

鳥取空港で県・市の職員さんによる温かい歓迎を受けた後、市役所へ向かいました。市役所内の食堂で昼食をとった後は、いよいよ市長への表敬訪問です。地元メディアの取材も入り緊張感のある会場で、ふるさと活動隊員一人一人が市長への挨拶とプログラムへの意気込みを述べました。市長からは活動隊員への期待と激励のお言葉をいただき、そして最後には、なんと市長から直々にミッション「すごい！鳥取市ワーホリ！体験レポを作成せよ」を頂戴しました。これから過ごす4泊5日で、一つ一つのミッションをクリアしながら、最終的に市長ミッションであるレポートの作成を目指します。隊員たちは心地よい緊張感の中、意気込みを新たにしました。



すごい！鳥取市ワーホリ！ 市長 MISSION 「5日間の体験を写真に収め、見る人に伝わりやすい体験レポを完成させよ！」	
コ ン テ ン ツ	鳥取市での暮らし体験を終えての感想をまとめよ
	面白かった体験、正直しんどかった体験を述べよ
	体験して変わった鳥取市のイメージを述べよ
	鳥取市に移り住むことを考えている人へのアドバイスを述べよ

一日目後半は、市職員さんの案内のもと中心市街地の町歩きを行いました。市の歴史から構成まで、お話を伺いながらの町歩きは、パンフレットでは知る事の出来ない昔の出来事や物語に溢れ、短い時間ながらも鳥取市への理解を深める事ができました。



プログラム2日目（地域の方との交流）

この日は市内で働く方や暮らす方との交流がメインの一日でした。東京からUターンしてタクシー運転手として働く方や、鳥取ならではの幼稚園、そして子供たちの様子、考え方や暮らし方をお聞きし、普段関東で生活している自分たちとの違いを考える時間となりました。



鳥取駅前の大丸で昼食をとった後は、市職員さんから追加ミッション「大丸各フロアで面白いものを見つけ、写真に収めよ」が課されました。屋上スペース「まるにわ」が11月にグランドオープンする際、大丸内で子ども向けイベントとして行う「宝探しゲーム」の材料探しです。隊員たちはフロアごとに担当を分け、子ども目線での「おもしろいもの」探しに夢中になりました。

追加ミッション終了後は鳥取家守舎の方々から、まちなかりノベ物件の紹介をしていただきました。鳥取家守舎は、中心市街地に数多く存在する空き家をお洒落に便利にリノベーションし、新たな命を吹き込むお仕事をされています。地域の歴史を刻んできた建物を、その良さを活かしながら現代に合う形に生まれ変わらせ、人が集まる場所を作り上げること。若者人口が減少している鳥取において、それが結果的に地域の活性化に繋がっているのだと学ぶことができました。最後は家守舎の手によって生まれ変わったお店「ホンバコ」で夕食をとりながら、講義「本当のことはストリートにある」を受け、市内で活躍する方々の本当の思いを聞く事ができました。



プログラム3日目（砂丘体験、県内大学生との交流）

鳥取といえば砂丘、やはりここは外せません。3日目は楽しみにしていた砂丘体験です。鳥取市に数台しか走っていないピンクのすごウサタクシーに乗って、早朝から砂丘に向かい、ヨガとファットバイクを体験しました。天候は曇天でしたが、鳥取ならではのアクティビティを楽しむことができました。



また、初日に市長からチケットをいただいた「砂の美術館」見学や、鳥取県産の力強い木材に魅了され事業を始めた方のお話を伺い、鳥取の持つ自然の魅力に触れました。



午後は鳥取市用瀬町（もちがせちょう）にて、町の活性化に取り組む住民と鳥取環境大学起業部の学生さんにより、用瀬町の案内をしていただきました。起業部の皆さんは、大学に通いながら週末のみ用瀬町に住み、住民の方々と用瀬町の活性化を考える活動をしています。町なかに小川が流れ、情緒溢れる素敵な用瀬町をすぐに好きになった活動隊は、用瀬の良い所・悪い所を考えるワークショップに加えていただきました。住民の方々や行政の方からも一目置かれる起業部の活動は、同じ大学生としてとても良い刺激になりました。



夜は前日行った大丸での〈おもしろいもの探し〉の発表でした。鳥取大丸屋上庭園プロジェクト「まるにわ」の代表の方々へ向け、大丸で発見した沢山のおもしろいものをお伝えしました。学生ならではの視点、初めて鳥取大丸へ訪れた人ならではの視点で見つけた〈おもしろいもの〉を、大人達は終始笑いながら、そして感心しながら聞いてくださいました。グランドオープンに向けとても参考になったとのお言葉をいただき、早朝から活動した長く充実した一日を終えました。

プログラム4日目（自由行動、打ち上げパーティー）

この日は朝食後から18時までチームごとに自由行動を行いました。行ってみたいところ、食べてみたいもの、活動隊が作成するおすすめコースの所要時間確認など、市長ミッションに取り組む準備のため各々が楽しみながら鳥取を駆け回りました。シュノーケリングで海的美しさを堪能したり、伝統的な街並みを楽しんだり、中心市街地を飛び出して電車やバスを乗り継ぐ小さな旅に出かけました。



鳥取市から提供いただいたガイドブックへのスタンプを集める、という追加ミッションもなんとかこなし、18時の集合時間にバタバタしながら駆け込みました。

18時から、この4日間お世話になった方々にお声掛けし、鳥取大丸の屋上をお借りして打ち上げパーティーを行いました。期間中に名刺をいただいた方へ、活動隊員らが自らメール等でお誘いした結果、お忙しいにも関わらず沢山の方々にお越しいただくことができました。

年齢や職業はバラバラの皆さんでしたが、鳥取が大好きで、地域をよりよくしたいと考えている方ばかりです。これまでお知り合いでなかった方々もすぐに打ち解け、楽しい時間は過ぎてゆきました。

最後は活動隊員全員から感謝の気持ちをお伝えし、また鳥取に帰ってくる約束をしてお開きとなりました。



プログラム5日目（意見交換会、帰京）

最終日は、これから作成に取り掛かる市長ミッション「5日間の体験を写真に収め、見る人に伝わりやすい体験レポを完成させよ！」について、どんな物を作り上げる予定なのかを発表し、それに対してご意見をいただく意見交換会となります。

鳥取県、鳥取市の職員さん、前日までお世話になったサービスタクシーの運転手さん、そして明治大学校友会鳥取県支部の大先輩たちにお越しいただきました。活動隊は、見る人に伝わるレポートとして文字ではなく視覚に訴える「ホームページ」を作りたいとし、掲載する情報は市から課されている内容に加え、前日までの4日間で回った場所や出会った人を「LIFE」「SIGHTSEEING」、考えた観光ルートや宿・温泉を「ROOT」のページを作成し公開したいとしました。これに対し、全員から感想をいただいた中で「ご年配の方も興味を持てるように鳥取市の歴史にも触れてはどうか」「創業者である岸本辰雄先生の事にも触れてはどうか」等、今後ホームページを作成する際に参考になる貴重なご意見をたくさん頂戴することができました。



意見交換会の後は昼食を食べ、ついに帰京のため空港へ。県や市の職員さんには最後までお世話になり、空港でも見送りをいただきました。あっという間の4泊5日でしたが、ぎゅっと凝縮した内容で鳥取を感じ、学び、楽しむ事ができました。帰京後は「行ってみたい」「住んでみたい」と思われるようなホームページの作成を目指し、ふるさと活動隊一同頑張っています。



深澤鳥取市長をはじめ鳥取県職員、鳥取市職員、この度お世話になった全ての皆様、心温まるご支援とご対応、誠にありがとうございました！

【参考】鳥取滞在中に取り組んだミッション

2016年度鳥取への学生派遣プログラムのミッションは「体験レポを作成せよ」でしたが、学生のより主体的な活動を促進するために、現地滞在期間中に突然の追加ミッションを課していました。以下にそのミッション内容を掲載します。

<ミッション1>

市長訪問の際、1分以内で自己紹介そして意気込みをアピールしてください。個人の持ち時間は1分です。簡潔に、心に残る自己紹介をお願いします。

<ミッション2>

本日案内していただいた五臓圓について、2階のカフェ（現在閉店）はなぜ集客があまりよくなかったのだと思いますか。

また、あなたならあのスペースをどんな事に使いたいですか。

文字数指定はありません。理由も合わせて以下に送ってください。

送り先 so●●●@meiji.ac.jp

期限 9月13日（火）朝9時まで

<ミッション3>

「大丸各フロアで面白いものを見つけ、写真に収めよ」

時間 14時まで（※明日の夜までに発表できる状態にしてください）

<ミッション4>

「砂丘ヨガ」「ファットバイク」「砂の美術館」

この3つそれぞれのキャッチコピーを考えてください。

男子グループ、女子グループに分かれて、代表の方が明日のAM9時までに以下に送ってください。

so●●●@meiji.ac.jp

<最終ミッション>

自由行動の際、ガイドブックを利用しクーポンにスタンプを1つ以上集めてください。またその証拠写真をメールで送ってください。

以上